

BE TRUE TO CHRIST

西南学院大学・大学院
西南学院中学校・高等学校
舞鶴幼稚園
早緑子供の園

2005(平成17)年度 事業報告書

(2005年4月1日から2006年3月31日まで)

学校法人 西南学院

目 次

	頁
．事業の概要	
1．各学校概要報告	
(1) 本部	1
(2) 大学	2
(3) 中学校・高等学校	3
(4) 舞鶴幼稚園	4
(5) 早緑子供の園	4
2．各学校行事報告	5
3．収益事業会社の設置	8
4．大学第 10 次財政計画	8
5．その他	9
(1) 教職員の仕事と家庭の両立支援及び男性教職員の育児参加促進	
(2) 2005(平成 17)年度福岡市ごみ減量・再資源化優良事業者等表彰	
財務比率比較表(大学法人)	10
．主な 2005(平成 17)年度予算の執行状況(財務の概要)	
1．資金収支計算	11
2．消費収支計算	12
3．貸借対照表	13
4．学生数・財務比率などの推移	15
．法人の概要	
設置する学部・学科等名称及び入学・収容定員と学生数	18

学校法人西南学院の2005(平成17)年度の事業概要について、ご報告いたします。

．事業の概要

はじめに

本学は、2001(平成13)年1月、学院創立100周年(2016年)に向けて、21世紀の西南学院が建学の精神に根ざして積極的に真理を探究し、研究やキリスト教に基づく全人格的教育・保育の活動を継続しながら、同時に激しく変化する学院内外の環境に柔軟に対応し、社会のニーズにも可能な限り応えることができる教育機関を目指した「西南学院の課題と展望」を策定しました。この課題と展望は、西南学院を絶えず改善するための「自己点検・評価」としても捉えています。

21世紀の西南学院

- 1．21世紀に求められる学院の新しい共同体の形成
- 2．新しい教育改革と教育の理想
- 3．新しい時代のニーズを満たす革新的教育、研究
- 4．新しいキャンパスづくり
- 5．地域に開かれ、世界に開かれた学院

西南学院の課題と展望

- ．学院「変わらぬ理念と高い目標」
- ．教育と研究「21世紀における“知”の再構築」
- ．学外連携「社会発展に資する開かれた研究・教育機関」
- ．組織・運営、機能「意思決定システムの再構築と諸機能の強化」
- ．施設・設備「新時代の期待に応えるキャンパス整備」
- ．財政「各学校、幼稚園、保育所の財政基盤の確立」

1．各学校概要報告

(1) 本部

学院創立89周年記念行事について

去る5月13日(金)に記念式典、記念講演会、記念昼餐会等の諸行事を実施しました。来年は創立90周年という節目の年を迎えますので、「西南学院創立90周年事業企画運営委員会」を設置して記念行事について準備を進めました。

西南デーについて

近隣の諸教会に教職員が出向き、説教や証をすることによって、教派を超えた地域の教会との直接的なふれあいを通して、西南学院を身近な存在として感じてもらうことを目的とした「西南デー」を5月に2回実施しました。

福岡県西方沖地震の影響について

2005(平成17)年3月20日(日)午前10時53分に発生した福岡県西方沖地震(マグニチュード7.0、最大震度6弱)、同年4月20日(水)午前6時11分同余震(マグニチュード5.8、震度5強)により、新耐震基準を充たしていない校舎、特に大学体育館、大学図書館(書架)、大学講堂(パイプオルガン)において大きな被害が発生した外、大学各所ガラス及び中高インターロッキングの破損やグラウンドの一部液状化に加え、早緑・舞鶴の園舎にも被害が出ました。そのため、補修工事及び外壁調査等のため、全体で約10千万円の費用

(そのうちの補修費用は大学5,000万円、中・高600万円、舞鶴幼稚園・早緑子供の園30万円)が発生いたしました。さらには、大学卒業式・入学式を中・高体育館に場所を変更して行い、業務委託等の臨時費用が発生しています。今後は、新耐震基準を充たしていない校舎について、優先的、計画的に耐震診断、耐震補強工事を実施していく予定です。

(2) 大学

大学院研究科の設置について

2005(平成17)年4月、あらたに神学研究科神学専攻修士課程及び人間科学研究科人間科学専攻修士課程を開設しました。これで大学院は8研究科になりました。同時に、大学院全研究科は、東キャンパスに完成した新大学院棟に移転し、利用を開始しました。

2005(平成17)年度入試について

- i) 学部においては、一般入試、入試センター試験、各種推薦入試等を含め1,736名(入学定員1,590名)の入学者を得ました。
- ii) 大学院においては、博士前期課程(修士課程を含む)及び博士後期課程を含め、59名の入学者を得ました。
- iii) 法科大学院においては、42名の入学者を得ました。

第9次財政計画について

第9次財政計画(2003年度~2005年度)期間中に、法科大学院の設置、学部・学科改組、新研究科の設置等の諸施策を進め、それらに必要な施設・設備の整備を順調に実施することができました。大学博物館開設のためのドージャー記念館の改修・復元工事は、福岡市有形文化財の指定手続等により着工時期が遅れましたが、2006(平成18)年5月開館に向けて本格的な準備段階に入りました。

大学の第9次財政計画は本年度で終了しますので、第10次財政計画に向けての策定が始まり、各部署からの要望を聞きつつ、懸案の新チャペル、学外連携施設、男子寮、田尻グラウンド整備などの計画を進める準備に取り掛かりました。

講堂(チャペル)建替えについて

計画策定に時間を要したため、継続事業になりましたが、エスキスコンペを経て、基本構想、基本設計の段階です。

干隈校地の代替地取得・整備計画について

環境アセス等の手続のため当初予定からは相当遅れましたが、2005(平成17)年10月、農地転用許可等を得て、約13.2haの用地を取得しました。来期はまず道路・水路の付替え等の準備工事に着手します。

コミュニケーションプラザの設置について

学部・学科の教員と学生との懇談の場所を提供するため、旧大学院棟を改装して新たにコミュニケーションプラザを設置しました。

2005(平成17)年度の国際交流について

今年度中に、新にハワイ大学ヒロ校、台湾の東呉大学と交流協定を締結しました。これによって、アジアの交流校は、吉林大学、慶星大学校、梨花女子大学校に加え、4校となり、総数20校になりました。留学生別科の留学生も29名とひと時よりも増加し、特にフランスからの留学生が増え、アメリカからの留学生は減少する傾向を見せています。中国、韓国からの留学生については、留学生別科に席を置きながらも、学部の授業を受講することができるようになり、本学の学生と留学生間の交流がますます深まっています。

大学教職員の名札着用を実施いたしました。

西南学院大学は、危機管理及び学生サービスの向上を目的として、教職員の名札の着用を開始いたしました。

大地震を想定した全学対象の避難訓練を実施いたしました。（2005.6.29）

アスベスト調査を実施いたしました。

大学全施設及び職員住宅について調査を行った結果、合宿研修所煙突断熱材、3号館西側階段最上階の2箇所「飛散性アスベスト」が検出され、ビニール床タイルなどの非飛散性建材はほぼ全施設で使用されていることが判明しました。

合宿研修所煙突はその使用を中止して除去作業実施までの密閉処理を行い、3号館部分は直ちに除去工事を行いました。調査結果及びその対応等はホームページで周知することとしています。

(3) 中学校・高等学校

教育目標について

「主を畏れることは知恵の初め。」これは旧約聖書の「箴言」にある聖句です。

知識を学ぶだけではなく、物事の善し悪しを判断する知恵と、これらをどのように社会に生かしていくかを、聖書を通して学んでいきます。

「人の嫌がることはしない」という消極的な生き方ではなく、「自分にして欲しいと願う事を隣人におこなう」という積極的な生き方を学んで欲しいと願っています。

西南学院の教育の根幹にある聖書があり、ゆとりある教育と豊かな環境の中で生徒を育てるために、下記のような教育方針を定めています。

i) 他者（隣人）を思いやる愛の精神を養う。

私たちは神様に愛され望まれて生まれてきました。私たち一人ひとりに注がれている神の無限の愛を知ることが最も大切なことです。そこに私たちの出発点があります。

ii) 神から授かった賜物（能力・個性）をどう生かすか。

神様は私たちにたくさんの賜物を与えてくださいました。重要なのは、賜物の代償ではなく、それをどう生かすかということです。知識という賜物を生かすために教科指導及び進路指導にも力を注いでいますが、その知識をどう生かすかという点にまで踏み込んで教育するのが西南の特色です。

中学・高等学校入学実績

	志願者数	合格者数	入学者数
中学校	1,294名	498名	192名
高等学校	1,303名	865名	483名

* 高等学校入学者数には一貫生229名を含んでいます。

主な大学進学実績

東京大学	3名	京都大学	4名	大阪大学	2名	東京外語	3名	横浜国立	4名
北海道大	3名	神戸大学	2名	九州大学	56名	九州工業	12名	熊本大学	9名
西南学院	123名	早稲田大	39名	慶應義塾	16名	上智大学	9名	立命館大	65名

主な学友会活動

- ・ 書道部 文部科学大臣奨励賞 加藤佳子
- ・ 物理部 国際物理オリンピック出場決定（シンガポール） 谷崎佑弥

- ・ 吹奏楽部 高文連九州大会初出場
- ・ 女子ハンドボール部 九州高校選抜ハンドボール選手権大会初出場

その他

福岡県美しいまちづくり賞 一般建築の部大賞に本校校舎が選ばれました。

(4) 舞鶴幼稚園

防災マニュアルの作成と訓練について

2005年3月、4月に地震があり、園児、教職員そして保護者等の安全と安心を守るために防災マニュアルを5月に作成し、各室に常備し、訓練も行うようにしました。

不審者対策について

以前から不審者の侵入に関しては、初期の対策として門及びエントランス付近の整備を、人的配置は3重のロック施錠で行い、保護者にも協力をお願いしました。さらに年度末に脇門IDカードの導入と園内ビデオカメラ設置を行い、より一層の対策強化に努力しています。

(5) 早緑子供の園

4月、16名の新入園児を含め、園児103名での保育が始まりました。その後、特に乳児の入園希望者が多く、全園児110名となり、3月には21名の卒園児を無事に送り出すことができました。園舎新築から4年目に入り、「姫りんご」「山桃」「ぐみ」「かし」など、園庭に植えた木々が季節ごとに豊かに実りました。また、保護者会の協力を得て乳児園庭に築山を、幼児園庭に「かくれんぼの森」と題したツツジの植樹をするなど、園庭の環境整備に取り組みました。一方、地域の子育て支援の役割も大きくなり、関連行事を月に1～2回の割合で計画・実行するなど、園児以外の乳幼児やその保護者との関わりも多く持ちました。

おわりに

本学の2005(平成17)年度の帰属収入は109.6億円(前期比2.3%減)、帰属収支差額13.6億円(前期比8%減)、翌年度繰越消費収入超過額は45.6億円(前期比2.1億円増)でした。

帰属収入減は大学入学者の一時的な減少によるものですが、2006(平成18)年度の大学入学者は前期比9.2%増となっています。

翌年度繰越消費収入超過額の内、基本金取崩額は31百万円です。

2. 各学校行事報告 [2005(平成17)年4月1日～2006(平成18)年3月31日]

	(1) 本部・事務局	(2) 大 学
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・新任教職員オリエンテーション(5日) ・キ学教同盟西南地区協議会総会(22日: 本学) 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式(1日) ・オリエンテーション(4～7日) ・前期授業開始(8日: 法科大学院; 4日) ・九州六大学野球春季応援合戦(13日)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・学院創立89周年記念式典(13日) ・西南デー(15・22日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生別科終了式(12日) ・学院創立89周年記念式典(13日) ・春季キリスト教フォーカス・ウィーク(31日～6月2日)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・聖書に親しむ会(2日) ・キ学教同盟第93回総会(3・4日: 恵泉女学園) ・日本バプテスト連盟事業体懇談会(17日: 北九州) 	<ul style="list-style-type: none"> ・公開演奏会(3日) ・Spirit Day(11日) ・地震避難訓練(29日)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・キ学教同盟夏期研究集会(28～30日: 静岡・東山荘) ・キ学教同盟事務職員夏期学校(30日～8月1日: 静岡・東山荘) 	<ul style="list-style-type: none"> ・私立大学フォーラム(23日) ・オープン・キャンパス(30日) ・前期試験(18～29日) ・法科大学院前期試験(26日～8月5日)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・キ学教同盟西南地区夏期学校(2・3日: 北九州) ・キ学教同盟西南地区新任教師オリエンテーション(2・3日: 北九州) ・キ学教同盟西南地区校長会(3日: 北九州) ・キ学教同盟西南地区事務職員研修会(18・19日: 長崎) ・職員夏期修養会(24・25日: 熊本) 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休暇(6日～9月25日)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・キ学教同盟大学部会研究集会(7・8日: 横浜) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区別修学懇談会(3・4・10・18・19・23日) ・大学院秋期入試(13日) ・留学生別科入学式(14日) ・教員懇談協議会(22日) ・法科大学院入学試験(23日) ・後期授業開始(26日) ・前期卒業証書・学位記授与式(28日)
10月		<ul style="list-style-type: none"> ・3年次転・編入等、帰国子女、AO選抜入試(1日) ・九州六大学野球秋季応援合戦(1日) ・秋季キャンパス相談会(29日)・特別座談会(29日) ・オルガン・コンサート(31日)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・キ学教同盟西南地区事務長会(10・11日: 小倉) ・キ学教同盟全国学校代表者協議会(12日: 関東学院) ・日本バプテスト連盟定期総会(16～18日: 天城山荘) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学指定校制、独自指定校制、西南女学院高推薦入試(5日)・西南高推薦入試(5・11日) ・公募制推薦、自己推薦入試(10日)・論文特別入試(11日) ・大学祭(10～13日) ・私立大学フォーラム(26日) ・秋季キリスト教フォーカス・ウィーク(29日～12月1日)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・聖書に親しむ会(1日) ・学院教職員クリスマス(14日) ・西南学院コミュニティクリスマス(22日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンドルサービス(21日) ・冬季休暇(25日～1月5日)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・キ学教同盟西南地区校長会(27日: 福岡女学院) 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試センター試験(21・22日) ・後期試験(23日～2月3日) ・大学博物館防火訓練(26日)
2月		<ul style="list-style-type: none"> ・法科大学院後期試験(6～24日) ・一般入学試験(8～10・13・14日) ・法科大学院既修者選抜試験(18・19日) ・大学院春期入試(24・25日) ・一般入試・大学入試センター試験利用入試合格者発表(25日)
3月		<ul style="list-style-type: none"> ・2年次転・編入、外国人入試(3日) ・西南ファカルティ リトリート(17日) ・卒業礼拝、卒業証書・学位記授与式(24日)

キ学教同盟 = キリスト教学校教育同盟

公募制推薦 = 英文学科、フランス語専攻 西南女学院高推薦 = 経済学部、法学部、人間科学部

自己推薦 = 英文学科、商学部、法学部 独自指定校制推薦 = 神学部、フランス語専攻、商学部、福祉 論文特別入試 = 経済学部

AO選抜入試 = 英語専攻

	(3) 高等学校	(4) 中学校
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式(7日) ・始業式(8日) ・新入生オリエンテーション(11・12日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式(7日) ・始業式(8日) ・1年学院紹介オリエンテーション(11日) ・2年集団生活(26～28日)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・学院創立89周年記念式典(13日) ・後援会総会(14日) ・中間考査(19～24日) ・同和研修会(20日) ・教員聖書研究会(31日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学院創立89周年記念式典(13日) ・中間考査(16・17日) ・同和研修会(20日) ・同和特設授業(23日) ・後援会総会(25日) ・前期ミッションウィーク(30・31日) ・教員聖書研究会(31日)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・前期ミッションウィーク(1～3日) ・同和特設授業(20日) ・期末考査(23～28日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスマッチ(2日) ・期末考査(24～28日)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツフェスティバル(6～8日) ・終業式(19日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・終業式(19日)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・中・高教員研修会(29・30日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中・高教員研修会(29・30日)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式(1日) ・文化祭(22・23日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式(1日) ・体育大会(24日)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・教員聖書研究会(14日) ・2年生林間学校(17～21日) ・1・3年生遠足(21日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間考査(11・12日) ・教員聖書研究会(14日) ・学年別遠足(21日)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・同和特設授業(7日) ・後期ミッションウィーク(9～11日) ・期末考査(24～29日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱発表会(4日) ・後期ミッションウィーク(7～9日) ・同和特設授業(14・18日) ・期末考査(25～29日)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・フェアウェルパーティ(12日) ・クリスマス礼拝(14・15日) ・終業式(22日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス礼拝(13日) ・終業式(22日)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式(10日) ・専願入学試験(24日) ・専願入試合格発表(26日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式(10日) ・入学試験(18日) ・合格発表(20日)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・前期入学試験(3日) ・前期入試合格発表(7日) ・後期入学試験(11日) ・後期入試合格発表(14日) ・教員聖書研究会(22日) ・期末考査(27日～3月3日) ・卒業礼拝(28日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学説明会(4日) ・3年修学旅行(16～18日) ・教員聖書研究会(22日) ・期末考査(27日～3月2日)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式(1日) ・入学者説明会(17日) ・転入学試験(20日) ・終業式(22日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業礼拝(15日) ・修了式(16日) ・終業式(22日)

	(5) 舞鶴幼稚園	(6) 早緑子供の園
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・始園式(12日) ・入園式(13日) ・教会学校父母礼拝開始(18日) ・母の会総会(22日) ・社会見学(28日:少年科学文化会館) 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園式(1日) ・保育開始(2日) ・幼児クラス懇談会(15日) ・イースター礼拝(18日) ・乳児クラス懇談会(22日) ・年長児社会見学(26日)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・イースター礼拝(9日) ・未就園児保育・預かり保育開始(10日) ・学院創立89周年記念式典(13日) ・父親参加の日(15日) ・歓迎遠足(19日) ・社会見学(24日:新幹線車両基地) ・ミニ講演「生活リズム」(25日)・交通安全教室(25日) ・防災訓練(31日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児講座(14日) ・学院創立89周年記念式典(13日) ・春季総合検診(18日) ・保育園で遊ぼう会(28日) ・花の日礼拝(31日)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科検診(2・3日) ・花の日礼拝(6日) ・ミニ講演(8日:「子どもの育ちと歯」、22日:「手の働き」) ・避難訓練(21日) ・光組社会見学(24日:油山市民の森) 	<ul style="list-style-type: none"> ・さみどり小中学生の集い(4日) ・歯科検診(8日) ・年長児西南学院訪問(10日) ・親子で遊ぼう会(18日) ・年長児社会見学(29日)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・光組社会見学(9日:西南大人形劇の観劇) ・夏まつり(10日) ・1学期終業(15日) ・夏期休暇(16日~9月1日) ・未就園児対象ちびっこ水あそび(19日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・早緑こどもまつり(16日) ・プール開き(20日)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・夏期保育(19~23日) ・光組合宿保育(24~26日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・さみどり小中学生の集い(26日) ・キャンプ説明会(26日)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期始業(2日) ・教会学校開始、父母礼拝2学期開始(9日) ・未就園児対象ちびっこどろんこあそび(14日) ・ミニ講演「絵の発達」(14日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ(9・10日) ・おじいさん、おばあさんと遊ぼう会(16日)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・願書配布(3日) ・運動会(8日) ・園児秋の健康診断(14日) ・月組お泊り保育(20・21日) ・光組社会見学(28日:防災センター) 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児講座(1日) ・秋季総合検診(4日) ・乳児クラス保育参観(8日) ・さみどり運動会(22日) ・年長児卒園記念製作(25日) ・芋ほり遠足(26日)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・願書受付(1日) ・バザー(3日) ・新入園児面接(4日) ・みかん狩り遠足(月:光組:10日、花組:11日) ・感謝祭礼拝(14日) ・光組社会見学(18日:博物館見学)・防犯訓練(24日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝祭礼拝(8日) ・おもちゃ作りの会(9日) ・交通安全教室(11日) ・さみどりバザー(19日) ・乳児相談会/育児相談会(26日) ・アドベント礼拝(28日)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス父母礼拝(2日) ・クリスマス(花組:6日、月組:8日) ・クリスマス祝会(昼の部:15日、夜の部:17日) ・2学期終業(19日) ・冬期休暇(20日~1月9日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスメッセージ(3日) ・クッキー作り(8日) ・こひつじクリスマス(10日:乳児クラス) ・さみどりクリスマス(24日:幼児クラス) ・年末年始休園(29日~1月3日)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期始業(10日) ・親子もちつき大会(14日) ・教会学校開始(17日) ・父母礼拝3学期開始(20日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育開始(4日) ・もちつき会(21日) ・就学相談会(27日) ・小学生同窓会(28日)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前講演会(8日) ・春を呼ぶ会(月組:15日、光組:21日、花組:23日) ・母の会総会(24日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園で遊ぼう会(18日) ・さみどり文化祭(25日)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・母の会役員・教師懇談会(3日) ・卒業礼拝(5日) ・光組社会見学(7日:マリンワールド) ・卒業式(14日) ・終業式(15日) ・新入園児体験入園(16日) ・子ども同窓会(18日) ・カリキュラム研究会(22・23日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児講座(3日) ・お別れ会(7日) ・お別れ遠足(8日) ・幼児クラス懇談会(10日) ・乳児クラス懇談会(16日) ・卒園式(21日) ・保育終了(31日)

3. 収益事業会社の設置

「西南学院の課題と展望 . 財政」では、「魅力ある学院」の主たる収入である学費の確保と収入の多角化を図るため、(1) 募金事業推進、(2) 収益事業推進、(3) 各種補助金の獲得を挙げています。本学院での収益事業の検討は1999(平成11)年の学院収益事業検討委員会の設置から本格的に行ってきましたが、今般、以下の概要による別置営利法人を設置しました。第1期の経常利益は約1千万円を見込んでいます。

1. 設置年月日 2006(平成18)年3月1日
2. 名称 株式会社キャンパスサポート西南
3. 資本金 1,000万円(100%出資)
4. 事業年度 10月1日～9月30日(設置年のみ3月1日～9月30日)
5. 役員 代表取締役(事務局長)、専務取締役、取締役6名、監査役2名
6. 社長 事務局長
7. 社員 3名(うち1名本学院からの出向者)
8. 実施予定事業 施設総合管理、自動販売機の一括管理、教室等貸与、消耗品等調達一括管理、人材派遣、損害保険代理店、備品・用品調達一括管理等

4. 大学第10次財政計画(2006年度～2009年度)

西南学院大学では、教育研究水準の着実な向上を図るため、これまで数次に亘る財政計画を策定・実施してきました。2006(平成18)年度は第10次財政計画の初年度にあたります。

(1) 基本方針

第10次財政計画の期間は、大学の1サイクルである4年間とする。

学費は、経済状況等を考慮し、総合的な判断から原則として改定せず、据え置くこととする。

教育・研究の質的向上を実現する財政措置と組織・制度の再整備を行う。
施設建設及び施設拡充資金積立による財政の安定化を図る。

(2) 主な実施計画事業

教育・研究の質的向上を図る資金の新設及び教育・研究振興基金の増額

キャンパス整備資金積立及び大学奨学基金の増額

学外連携施設の建設(2006年度)

チャペル(大学講堂)の建設(建替え;2007年度)

田尻校地(仮称)整備(2006年度～2009年度)

男子寮の建設(建替え;2007年度)

情報処理環境の整備(2007年度)

L L 機器更新並びにC A L L システムの拡充(2007年度)

校舎等の耐震改修整備

(3) 第10次財政計画期間の収支概算（2006年度～2009年度）

科 目		概算額(単位:千円)	帰属収入の構成比	
収入の部	帰属収入	34,635,558	学費	84.9%
	施設拡充積立金等取崩収入	3,681,831	手数料	5.5%
	第9次財政計画期間からの繰越金	1,847,485	寄付金	0.3%
	合 計	40,164,874	補助金	5.0%
支出の部	消費支出	32,274,278	資産運用収入	0.4%
	資本支出	8,193,236	事業収入	1.1%
	予備費	200,000	雑収入	2.0%
	合 計	40,667,514	繰入金	0.8%
収・支()差額		502,640		

5 . その他

(1) 学校法人西南学院が「男性の育児参加促進実施事業主」に指定されました。

次世代育成支援対策推進法に基づき「仕事と家庭の両立支援に関する行動計画」を策定し、教職員の仕事と家庭の両立支援及び男性教職員の育児参加促進に取り組んでいます。（育児・介護雇用安定等助成金受給）

(2) 2005(平成17)年度福岡市ごみ減量・再資源化優良事業者等表彰で奨励賞を受賞いたしました。

西南学院大学は副学長のもと、2004(平成16)年度に環境マネジメント委員会を設置し、同委員会の部会のひとつであるゼロエミッション部会で、ごみ減量・リサイクルを推進して学生の意識を高め、循環型キャンパスを目指す取り組みを行っています。

財務比率比較表

(単位:%)

区 分		西南学院		全国平均	同系統	評価		
		2005年度	2004年度	2004年度	2004年度			
貸借対照表関係比率	自己資金は充実されているか	自己資金構成比率	自己資金 総資金	92.7	92.2	85.9	86.8	
		消費収支差額構成比率	消費収支差額 総資金	7.8	7.6	2.3	2.0	
		基本金比率	基本金 基本金要組入額	99.5	99.1	96.3	96.8	
		長期資金で固定資産は賅われているか	固定比率	固定資産 自己資金	93.3	93.8	98.5	95.8
	資産構成はどうか	固定長期適合率	固定資産 自己資金+固定負債	90.6	90.4	90.0	88.1	
		固定資産構成比率	固定資産 総資産	86.5	86.4	84.6	83.1	
		有形固定資産構成比率	有形固定資産 総資産	63.2	59.5	71.5	61.0	
		その他の固定資産構成比率	その他の固定資産 総資産	23.3	26.9	28.5	22.1	
		流動資産構成比率	流動資産 総資産	13.5	13.6	15.4	16.9	
		減価償却比率	減価償却累計額(図書除く) 減価償却資産取得額(同)	29.2	26.7	38.9	38.7	~
		負債に備える資産が蓄積されているか	内部留保比率	運用資産-総負債 総資産	29.5	32.7	30.0	25.8
	運用裕資率		運用資産-外部負債 消費支出	2.14	2.3	1.9	1.8	
	流動比率		流動資産 流動負債	301.5	307.2	257.7	301.4	
	前受金保有率		現金預金 前受金	419.2	451.6	321.4	336.5	
	退職給与引当預金率		退職給与引当資産 退職給与引当金	100.0	100.0	65.3	62.3	
	負債の割合はどうか	固定負債構成比率	固定負債 総資金	2.8	3.4	8.1	7.6	
		流動負債構成比率	流動負債 総資金	4.5	4.4	6.0	5.6	
		総負債比率	総負債 総資産	7.3	7.8	14.1	13.2	
		負債比率	総負債 自己資金	7.9	7.8	16.4	15.2	
	消費収支計算書関係比率	経営状況はどうか	帰属収支差額比率	帰属収入-消費支出 帰属収入	12.4	13.1	9.1	7.7
収入構成はどうか		学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 帰属収入	79.1	79.4	74.4	75.0	~
		寄付金比率	寄付金 帰属収入	0.7	0.7	1.9	1.8	
		補助金比率	補助金 帰属収入	10.0	9.4	12.7	13.0	
支出構成は適切であるか		人件費比率	人件費 帰属収入	59.9	58.3	52.2	55.1	
		教育研究経費比率	教育研究経費 帰属収入	21.8	22.1	28.2	26.3	
		管理経費比率	管理経費 帰属収入	5.3	5.7	28.2	9.0	
		借入金等利息比率	借入金等利息 帰属収入	0.1	0.2	0.5	0.5	
		基本金組入率	基本金組入額 帰属収入	10.7	3.9	15.2	13.9	
		減価償却費比率	減価償却費 帰属収入	7.5	6.9	11.8	10.0	~
収入と支出のバランスはとれているか		人件費依存率	人件費 学生生徒等納付金	75.7	73.4	70.2	73.5	
消費収支比率	消費支出 消費収入	98.1	90.4	107.2	107.2			

・(資料)平成17年度版 今日私学財政(日本私立学校振興・共済事業団)

・上表区分中、「全国」は医歯法人を除く、「同系統」は「文他複数学部;156法人」である。

・(評価) 高い値が良い 低い値が良い ~ どちらともいえない

・主な2005(平成17)年度予算の執行状況(財務の概要)
当期の予算の執行状況について、その概要をご報告いたします。

1. 資金収支計算

資金収支計算について、その内容をご報告いたします。

資金収支総括表

(収入の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒納付金収入	8,682	8,671	11
手数料収入	563	523	40
寄付金収入	30	64	33
補助金収入	1,038	1,092	54
資産運用収入	134	140	6
資産売却収入	1,635	1,635	0
事業収入	189	188	1
雑収入	195	271	76
前受金収入	1,638	1,807	169
その他の収入	6,388	6,769	381
資金収入調整勘定	1,839	1,924	85
当年度資金収入合計	18,651	19,235	584
前年度繰越支払資金	7,510	7,510	0
収入の部合計	26,161	26,745	584

大学・大学院生7,988名、中学生2,008名、幼稚園・保育所園児277名。

大学募金事業により予定額を上回りました。

法科大学院及び社会福祉学科の完成、CALLシステム教室の整備により増加しました。

選択定年退職者等の増加により、退職金団体からの交付金が増加しました。

大学入学手続き者が増加しました。

退職給与引当金繰入額及び中・高からの預り金により増加しました。

(支出の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	6,578	6,685	107
教育研究経費支出	1,904	1,671	233
管理経費支出	600	475	126
借入金等利息支出	9	9	0
借入金等返済支出	186	186	0
施設関係支出	3,502	3,369	133
設備関係支出	316	299	17
資産運用支出	3,798	3,575	223
その他の支出	2,717	2,986	269
予備費	201	-	201
資金支出調整勘定	89	83	6
当年度資金支出合計	19,722	19,170	551
次年度繰越支払資金	6,439	7,574	1,135
支出の部合計	26,161	26,745	584

選択定年退職者等の増加により退職金が増加し、見込みを上回りました。

物品等の調達見直しや、デマンド制御による光熱費等の経費節減が定着した結果と思われます。

建設仮勘定清算によるものです。

債券購入を市場の動向により買い控えました。

当年度資金収支差額	1,071	65	1,135
-----------	-------	----	-------

経常的収支計算

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異
経常的収入(網掛け科目)	10,830	10,949	119
経常的支出(網掛け科目)	9,091	8,839	252
経常的収支差額	1,740	2,110	370

2. 消費収支計算

消費収支計算について、その主な内容をご報告いたします。

消費収支総括表

(消費収入の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒納付金	8,682	8,671	11
手数料	563	523	40
寄付金	30	71	41
補助金	1,038	1,092	54
資産運用収入	134	140	6
資産売却差額	1	1	0
事業収入	189	188	1
雑収入	195	271	76
帰属収入合計	10,831	10,957	127
基本金組入額合計	1,300	1,173	128
消費収入の部合計	9,531	9,785	254

大学に対する現物寄付がありました。

(消費支出の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異
人件費	6,410	6,568	157
教育研究経費	2,620	2,385	235
(うち減価償却費)	716	714	2
管理経費	705	578	127
(うち減価償却費)	105	103	1
借入金等利息	9	9	0
資産処分差額	8	19	11
徴収不能引当金繰入額	0	45	45
予備費	223	-	223
消費支出の部合計	9,975	9,602	372

退職者の増加により、退職給与引当金繰入額が大幅な修正となりました。

大学奨学金にかかる徴収不能引当金を増額しました。

帰属収支差額	856	1,355	
帰属収支差額比率	7.9%	12.4%	
当年度消費収入超過額	0	183	
当年度消費支出超過額	444	0	
前年度繰越消費収入超過額	4,347	4,347	
基本金取崩額	0	31	
翌年度繰越消費収入超過額	3,903	4,561	

会計基準改正により、基本金取崩額を計上しました。

消費収入(109.6億円)の構成比率

学納金(大学)	67.7%
学納金(中高)	10.8%
学納金(幼稚園)	0.6%
手数料	4.8%
寄付金	0.7%
補助金	10.0%
資産運用収入	1.3%
資産売却差額	0.0%
事業収入	1.7%
雑収入	2.5%

消費支出(96.0億円)の構成比率

教員人件費	43.6%
職員人件費	21.4%
退職給与引当金繰入額	3.3%
教育研究経費	24.8%
(内減価償却費)	7.4%
管理経費	6.0%
(内減価償却費)	1.1%
借入金利息	0.1%
資産処分差額	0.2%
徴収不能引当金繰入額	0.5%

3. 貸借対照表

貸借対照表について、前年度からの増減の主な理由をご報告いたします。

貸借対照表

(資産の部)

(単位:百万円)

科目		本年度末	前年度末	増減	
資 産	固定資産	50,356	49,329	1,027	<p>田尻校地取得により土地が増加しました。</p> <p>教育研究充実のために毎年度1億円超の図書購入を続けています。</p> <p>建設仮勘定を清算しました。</p> <p>資産運用としての有価証券を増額させました。</p> <p>田尻校地取得に伴い施設拡充引当資産が減少しました。</p> <p>退職財団の交付金や補助金等の未収入金であり、確実に入金されるものばかりです。</p>
	有形固定資産	36,798	33,955	2,843	
	土地	13,733	10,075	3,658	
	建物	15,761	16,001	240	
	構築物	1,183	1,254	71	
	教育研究用機器備品	1,687	1,775	88	
	その他の機器備品	187	202	15	
	図書	4,247	4,100	147	
	建設仮勘定	0	548	548	
	その他の固定資産	13,557	15,374	1,816	
	電話加入権	9	9	0	
	有価証券	7,240	6,278	962	
	出資金	21	40	19	
	長期貸付金	794	825	31	
退職給与引当資産	1,582	1,699	117		
施設拡充引当資産	2,815	5,455	2,640		
第3号基本金引当資産	1,067	1,067	0		
敷金・保証金	28	0	28		
流動資産	7,864	7,754	109		
現金預金	7,574	7,510	65		
未収入金	261	226	35		
短期貸付金	2	3	0		
前払金	26	16	10		
合計	58,219	57,083	1,136		

(負債の部、基本金の部、消費収支差額の部)

(単位:百万円)

科目		本年度末	前年度末	増減	
負 債	固定負債	1,642	1,945	303	<p>選択定年退職者等が多かったことと退職財団の掛率が上がったために引当金額が減少しました。</p> <p>次年度新入生の納入金(入学金、授業料等)の一部を毎年度事前に受け取っています。新入生数により毎年増減があります。</p>
	長期借入金	60	246	186	
	退職給与引当金	1,582	1,699	117	
	流動負債	2,609	2,524	84	
	短期借入金	186	186	0	
	未払金	67	102	35	
	前受金	1,807	1,663	144	
預り金	549	574	25		
合計	4,251	4,469	219		
基本金	49,408	48,267	1,141		
消費収支差額	4,561	4,347	214		
合計	58,219	57,083	1,136		

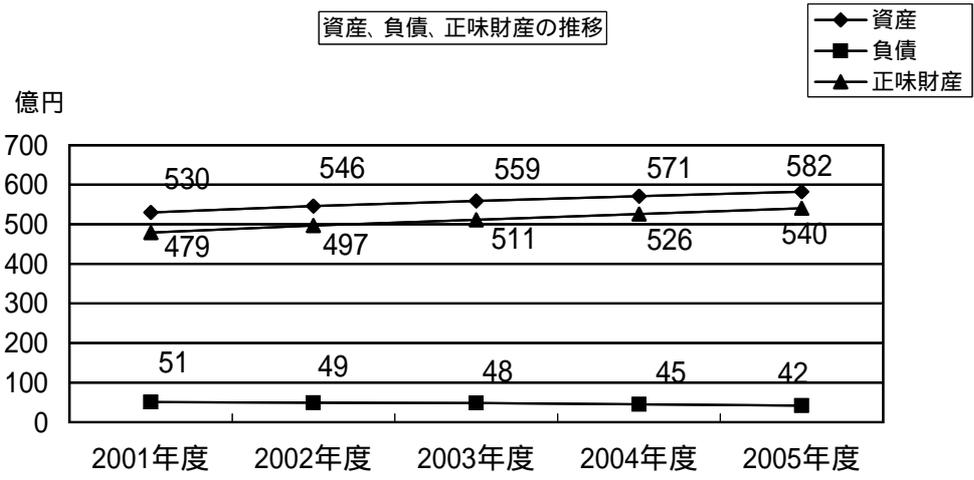
(参考)

正味資産	53,969	52,614	1,355
------	--------	--------	-------

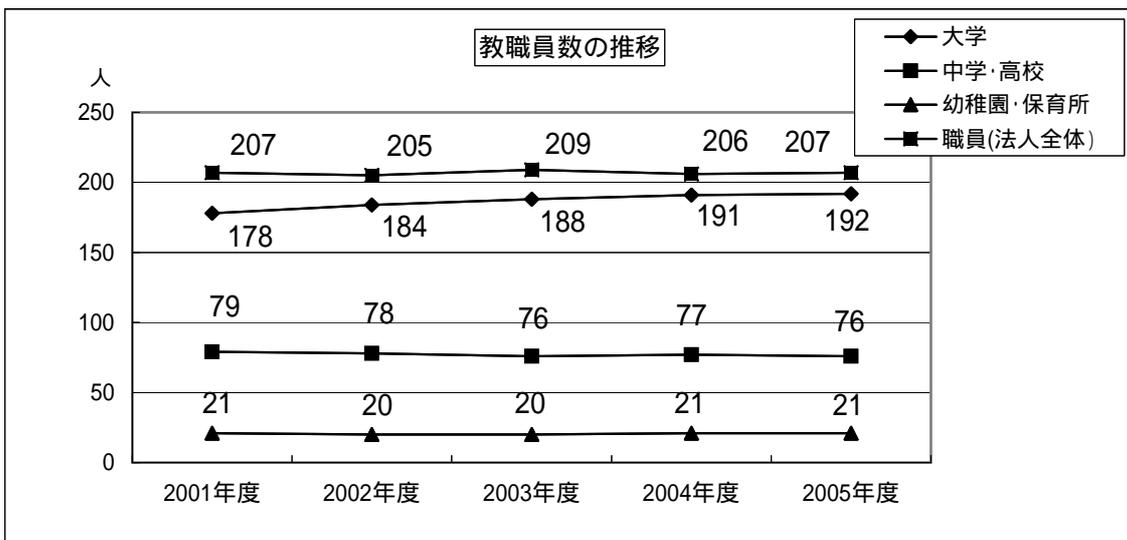
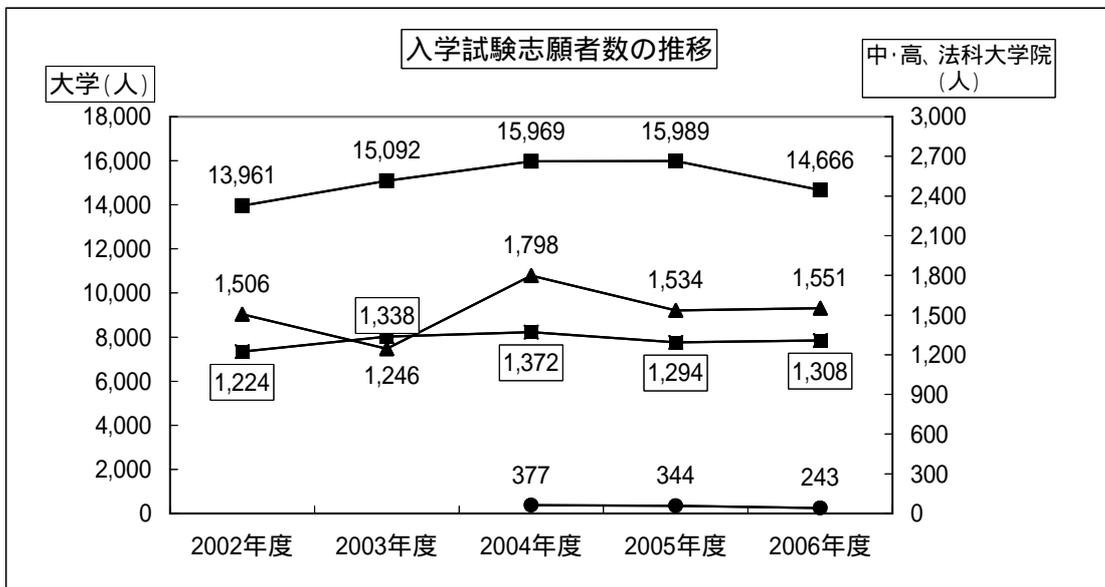
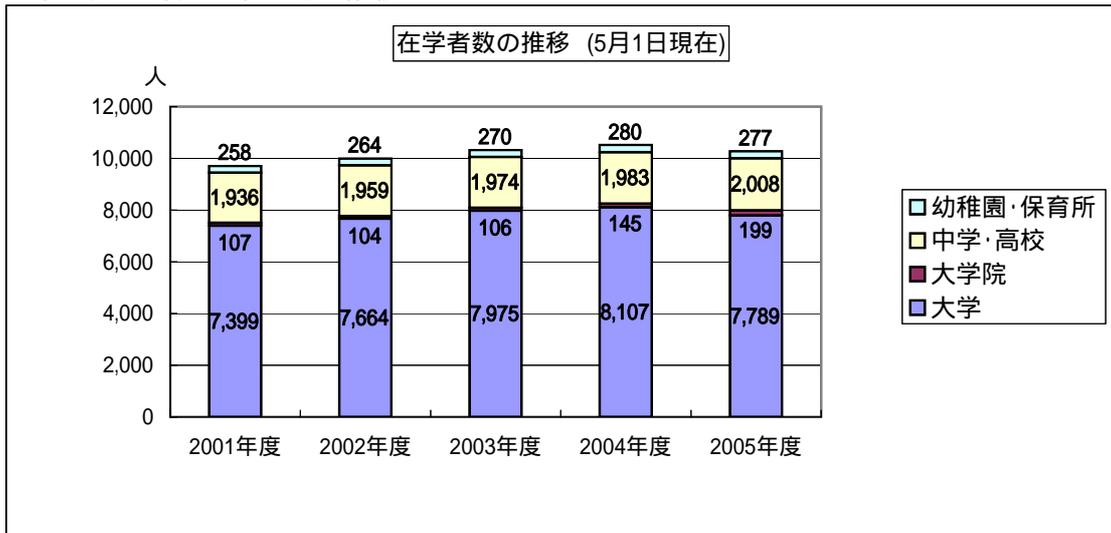
正味資産 = 資産 - 負債 (= 基本金 + 消費収支差額)

減価償却額の累計額	7,769	7,021	748
基本金未組入額	246	431	186

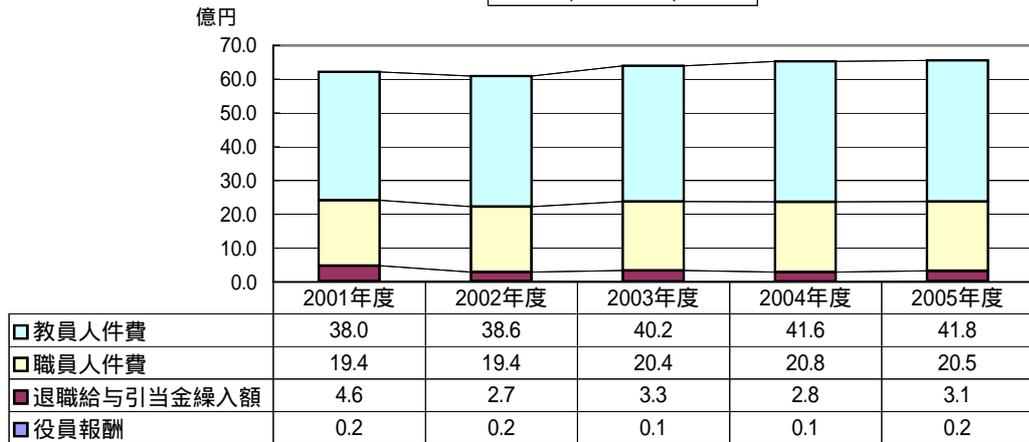
資産、負債、正味財産の推移



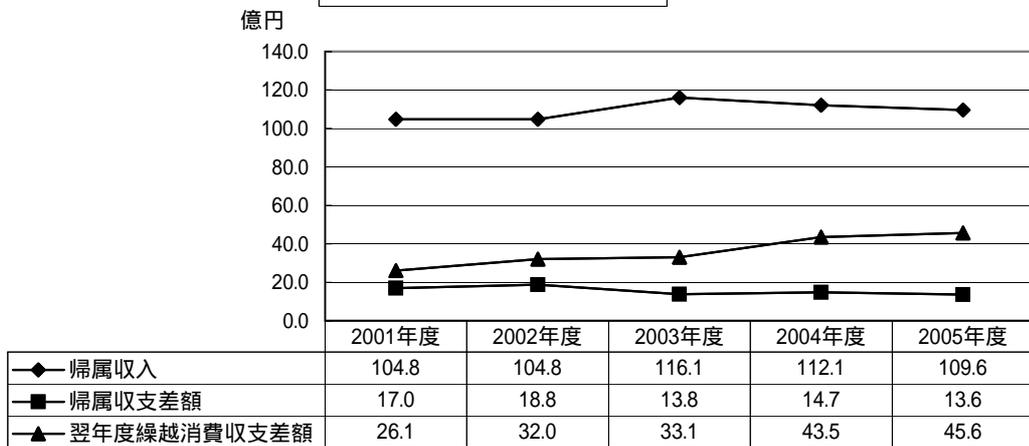
4. 学生数・財務比率などの推移



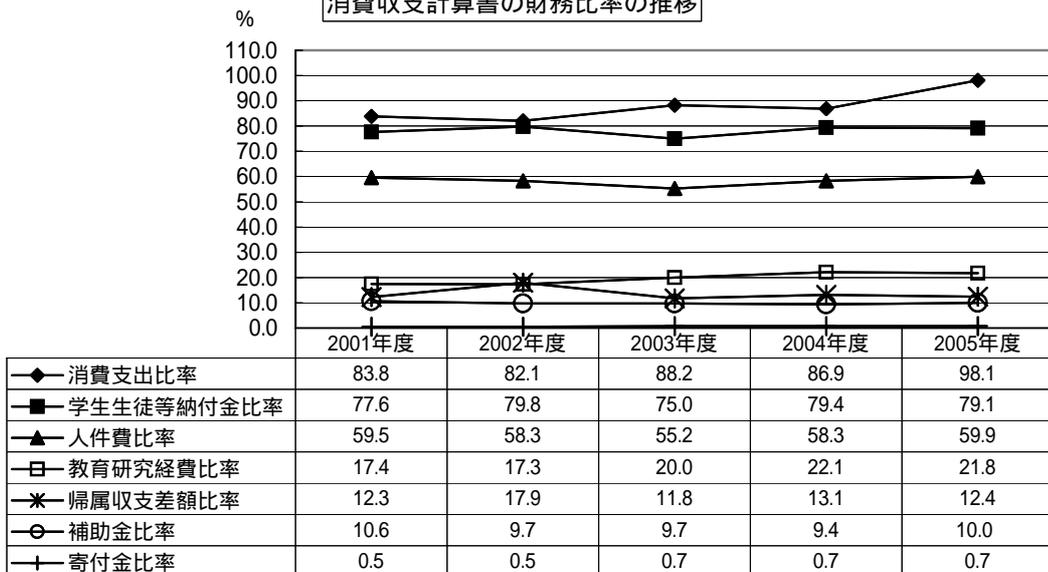
人件費(消費支出)の推移

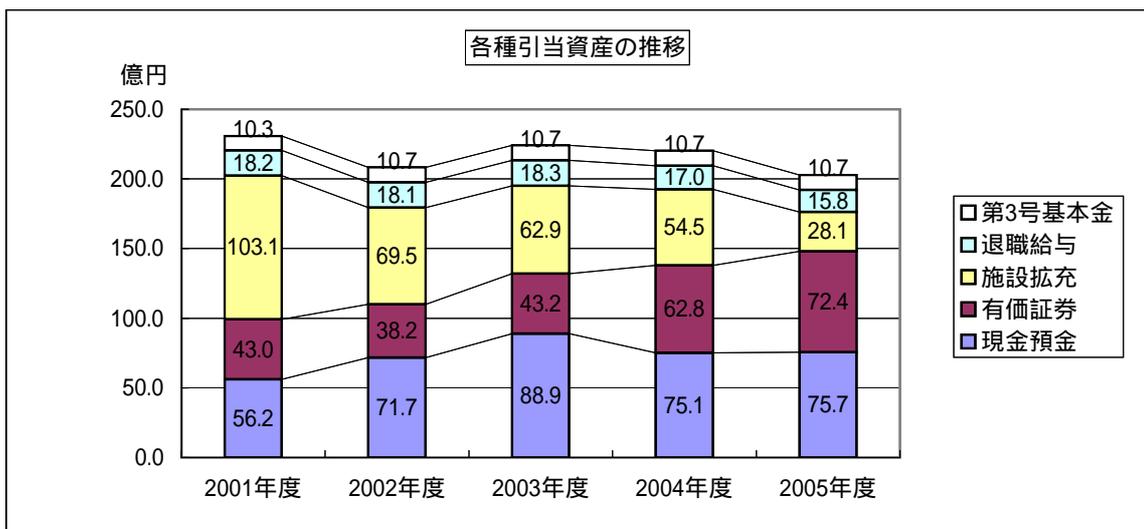
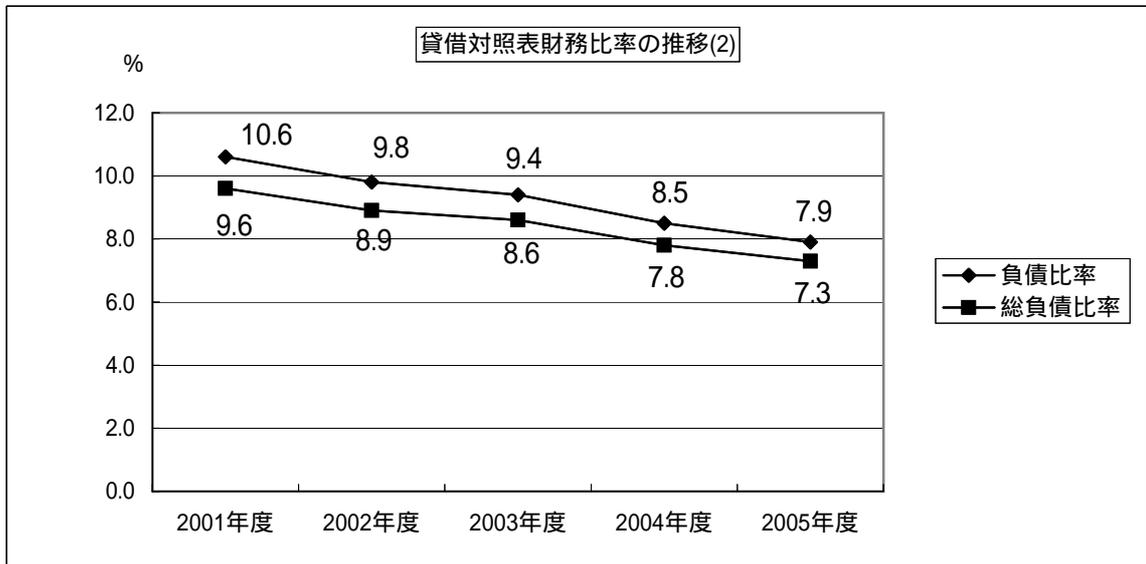
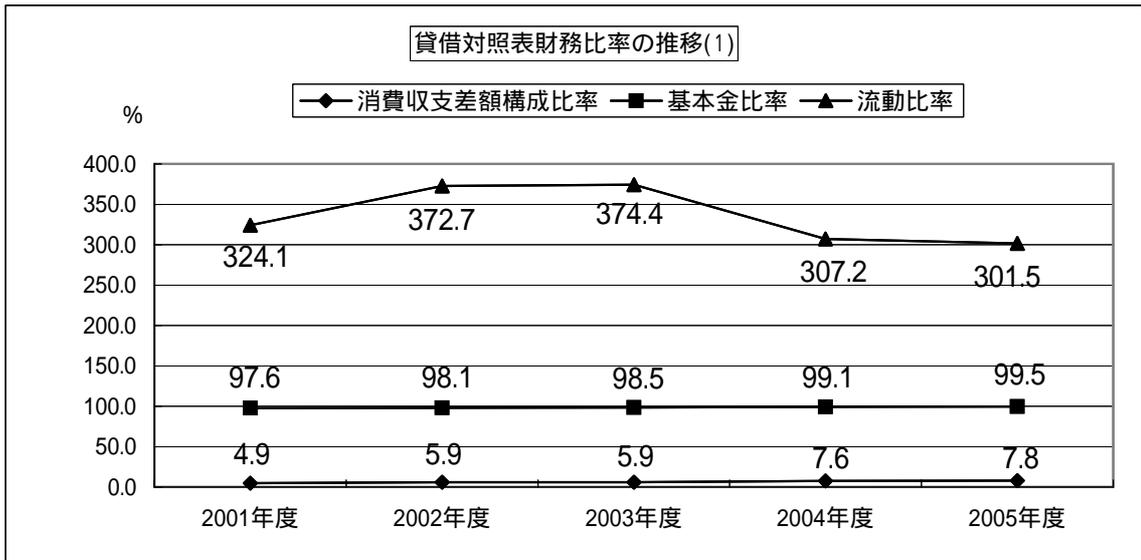


帰属収入と帰属収支差額の推移



消費収支計算書の財務比率の推移





・法人の概要

設置する学部・学科等名称及び入学・収容定員と学生数

【大学・学部】

学部	学科	専攻	入学定員	入学者	比較	収容定員	学生数	比較
神学部	神学科		10	11	110.0%	40	45	112.5%
文学部	英文学科		100	99	99.0%	400	470	117.5%
		外国語学科	英語専攻	100	122	122.0%	400	517
		フランス語専攻	50	55	110.0%	200	247	123.5%
		計	150	177	118.0%	600	764	127.3%
	計		250	276	110.4%	1,000	1234	123.4%
商学部	商学科		150	168	112.0%	600	736	122.7%
		経営学科	150	179	119.3%	600	758	126.3%
		計	300	347	115.7%	1,200	1494	124.5%
経済学部	経済学科		200	209	104.5%	800	932	116.5%
		国際経済学科	100	112	112.0%	400	462	115.5%
		計	300	321	107.0%	1,200	1394	116.2%
法学部	法律学科		270	341	126.3%	1,080	1298	120.2%
		国際関係法学科	80	94	117.5%	320	353	110.3%
		計	350	435	124.3%	1,400	1651	117.9%
人間科学部	児童教育学科		100	121	121.0%	400	471	117.8%
		社会福祉学科	150	177	118.0%	660	760	115.2%
		計	250	298	119.2%	1,060	1231	116.1%
国際文化学部	国際文化学科		150	186	124.0%	540	662	122.6%
合計			1,610	1,874	116.4%	6,440	7711	119.7%

・学生数は2006年5月1日現在

・人間科学部社会福祉学科は3年次に編入学定員(30名)を設定

・国際文化学部国際文化学科は2006年4月開設・20名定員増()

【大学院】

研究科	専攻	博士前期(修士)課程				博士後期課程			
		入学定員	入学者	収容定員	学生数	入学定員	入学者	収容定員	学生数
法学研究科	法律学専攻	10	2	20	5	3	2	9	4
経営学研究科	経営学専攻	10	10	20	20	3	3	9	7
文学研究科	英文学専攻	10	2	20	9	3	0	9	0
	フランス文学専攻	5	3	10	6	3	2	9	2
経済学研究科	経済学専攻	7	1	14	7				
神学研究科	神学専攻	7	4	14	10				
人間科学研究科	人間科学専攻	10	7	20	16				
国際文化研究科	国際文化専攻	10	11	20	23	3	0	9	8
合計		69	40	138	96	15	7	45	21

法務研究科	法曹養成専攻	50	50	150	137	法務博士(専門職)
-------	--------	----	----	-----	-----	-----------

【高等学校、中学校、幼稚園、保育所】

区分	入学定員	入学者	比較	収容定員	生徒等数	比較
高等学校	450	414	92.0%	1,350	1,352	100.1%
中学校	200	246	123.0%	600	642	107.0%
幼稚園		64		160	162	101.3%
保育所		14		90	103	114.4%
計		738			2,259	

所在地

法人本部・大学・大学院(法務研究科を含む)
〒814-8511 福岡県福岡市早良区西新六丁目2番92号 電話 092-823-3201

西南学院中学校・高等学校
〒814-8512 福岡県福岡市早良区百道浜一丁目1番1号 電話 092-841-1317

舞鶴幼稚園
〒810-0053 福岡県福岡市中央区鳥飼一丁目6番1号 電話 092-751-6650

早緑子供の園
〒810-0053 福岡県福岡市中央区鳥飼一丁目6番5号 電話 092-761-3408

役員・評議員・教職員の概要

【役員】 (2006年4月1日現在)

理事長 齊藤 未弘
以下 理事20名

監事 2名

【評議員】 (2006年4月1日現在) 46名(理事を含む)

【教職員】 (2006年4月1日現在)

学校等	専任教員	特別教員	実務家教員	常勤講師	特任教員	専任職員	嘱託職員	計
本部						64	1	65
大学	184	10	4			86	31	315
高等学校	49			2		12	6	93
中学校	23			1				
幼稚園	8				3		2	13
保育所	8					1	2	11
計	272	10	4	3	3	163	42	497